

第 132 回日本森林学会大会での関連集会の情報

例年、日本森林学会大会時には関連集会被開催されています。

第 132 回大会はオンラインでの開始となりますが、森林遺伝種学会、森林昆虫談話会、森林利用学会、樹木病害研究会、林業経済学会から、情報が寄せられましたのでお知らせします。お問い合わせなどは、それぞれの関連集会にお願いいたします。

なお、記載のメールアドレスにある<アットマーク>は@に読み替えてください、

またここに記載されていない関連集会については、それぞれお問い合わせください。

森林遺伝育種学会第 10 回シンポジウム・・・・・・・・・・ 2～3

第 27 回森林昆虫談話会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

森林利用学会理事会・総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

樹木病害研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～7

林業経済学会 2021 年春季大会シンポジウム・・・・・・ 8

森林遺伝育種学会第 10 回シンポジウム

【日 時】 2021 年 3 月 24 日（水） 9:30~12:30

【テーマ】 ヒノキの遺伝，育種と林業

【開催方法】 Zoom によるオンライン開催

【申込方法】 URL (<https://forms.gle/UtmrBhuDEwPpV6Am8>) にあるフォームから事前登録

【申込締切】 3 月 17 日（水） 定員 500 人（先着順）

【連絡先】 阪口翔太：sakaguchi.shota.6a <アットマーク>kyoto-u.ac.jp

【その他主催者からの情報】

新型コロナウイルス感染症に関する昨今の状況を鑑み，森林遺伝育種学会第 10 回シンポジウムはオンラインで開催することになりました．今回は「ヒノキの遺伝，育種と林業」をテーマに 5 名の先生方にご講演頂きます．

❖ シンポジウム情報

ヒノキは，スギやマツ等とともに我が国の重要な林業樹種のひとつであり，遺伝的変異の解明や第二世代精英樹・特定母樹の開発とともに，近年では雄性不稔個体の選抜・品種化も進んでいる．そこで，第 10 回森林遺伝育種シンポジウムでは，これまでのヒノキにおける無花粉ヒノキを含めた次世代育種や遺伝資源の保存・評価の取組みについて，ヒノキの遺伝・育種分野の第一線で研究されている方々に話題提供していただくとともに，優良種苗を活用したヒノキ林業の経営に携わっておられる事業者の方や，在来品種の利用促進に関わっておられる自治体の方からも話題提供いただく．そして，ヒノキをとりまく情勢やニーズ等もふまえ，今後のヒノキの遺伝・育種・林業について議論・展望する機会としたい．

【コーディネーター】 岩泉 正和（森林総研林育セ関西）

【プログラム】

9：30－9：40 趣旨説明： 岩泉 正和（森林総研林育セ関西）

9：40－10：10 「ヒノキの生態と遺伝的変異」 松本 麻子（森林総研）

10：10－10：40 「ヒノキの次世代育種集団の構築と特性評価」 三浦 真弘（森林総研林育セ関西）

（10：40－10：50 休憩）

10：50－11：20 「ヒノキの無花粉育種に向けて」 齋藤 央嗣（神奈川県自然環境保全セ）

11：20－11：40 「ヒノキ林業のこれまでとこれから」 川端 康樹（（株）海山林友／速

水林業)

11：40－12：10 「挿し木品種『ナンゴウヒ』のブランド化」 高田 美穂（熊本県高森町役場／阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会）

12：10－12：30 総合討論

❖ 参加方法

【事前登録】

3月17日（水）までに以下の URL (<https://forms.gle/UtmrBhuDEwPpV6Am8>) にあるフォームから事前登録をして下さい。本講演会は定員 500 名となっていますので、なるべくお早めにお申込み下さい。ご登録が完了した方には、登録アドレスに自動応答メールが届きます。もしご登録頂いてから1日が経過してもメールが届かない場合は、大会主事（阪口翔太：sakaguchi.shota.6a<アットマーク>kyoto-u.ac.jp）までメールにてお問合せ下さい。

【事前準備】

講演会は Zoom で行いますので、事前に Zoom アプリをインストールして下さい。<Zoom アプリのインストール>ダウンロードページ (<https://zoom.us/download>) から、『ミーティング用 Zoom クライアント』を選んでダウンロードして下さい。

【オンラインサイト URL のご案内】

3月19日（金）に、ご登録済みアドレスへオンラインサイト URL をメールにてお送りします。

第 27 回森林昆虫談話会

【日 時】 2021 年 3 月 24 日（水）9:00~12:00

【テーマ】 森林昆虫研究の発展にむけて その2

【開催方法】 オンライン開催

【申込方法】 URL (<https://forms.gle/LvqHQ7VKJxavnfEh6>) にあるフォームから事前登録、申込者には折り返しオンライン会議参加 URL を通知

【申込締切】 3 月 16 日（火）

【連絡先】 松本剛史, 〒305-8687 森林総合研究所 森林昆虫研究領域,
Tel. 029-829-8254, Fax. 029-873-1543,
E-mail: mtakeshi@ffpri.affrc.go.jp

【その他主催者からの情報】

内容：「森林昆虫研究」と言っても研究内容は多岐にわたる。地域的かつ緊急的に現場対応が必要な課題、全国的に被害をもたらしている害虫に関する包括的な研究、昆虫－微生物共生系の多様性・進化に取り組む 3 名の方々に話題提供して頂き、基礎研究から現場への普及へと森林昆虫研究について広く議論する。

<話題提供>

1. 「マツ枯れ・ナラ枯れ被害最北地域の現状について」
伊藤 昌明（(地独) 青森県産業技術センター林業研究所）
2. 「主要森林害虫の総論と各論：ナラ枯れ、トビクサレ、クビアカツヤカミキリなど」
衣浦 晴生（森林総合研究所）
3. 「竹林の昆虫－微生物共生系」
土岐 和多瑠（名古屋大学大学院生命農学研究科）

世話人：吉田智弘（東京農工大学）・松浦 崇遠（富山県森林研究所）・松本剛史（森林総研）

森林利用学会理事会・総会

【日 時】 2021年3月26日（金）時間は別途連絡

【開催方法】 Zoom Webinar によるリモート会議

【申込方法】 学会ホームページとメーリングリストでお知らせいたします。

【連絡先】 森林利用学会事務局, 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1
東京大学大学院農学生命科学研究科 森林利用学研究室内,
E-mail:jfes-office<アットマーク>jfes.jp

樹木病害研究会

- 【日 時】 2021年3月24日(水) 9:00~12:00
- 【テーマ】 北の樹木病害
- 【開催方法】 Zoom を用いたオンライン開催(各自インストールのこと)
- 【申込方法】 申込メールアドレス treediseasejp <アットマーク>gmail.com へ申込
受付後にメールで参加 URL を連絡
- 【申込締切】 2月26日(金) 先着 90名
- 【連絡先】 楠本 大 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770,
東京大学大学院農学生命科学研究科 附属千葉演習林
Tel./Fax. 04-7094-0621 / 04-7094-2321,
E-mail: kusumoto <アットマーク>uf.a.u-tokyo.ac.jp
- 石原 誠 〒062-0041 札幌市豊平区羊ヶ丘 7 番地,
森林総合研究所北海道支所,
Tel./Fax. 011-851-4131 / 011-851-4167,
E-mail: makolin <アットマーク>affrc.go.jp
- 高橋由紀子 〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1,
森林総合研究所きのこ・森林微生物研究領域 森林病理研究室,
Tel./Fax. 029-829-8247 / 029-873-1543,
E-mail: ytakah <アットマーク>ffpri.affrc.go.jp

【その他主催者からの情報】

内容：北方に生育する樹木類は種構成が一見単純ではあるが、広大に存在しており、重要な木材資源であると同時に貴重な生態系サービスを提供している。そして、そこで発生する樹木病害には、これらの構成樹種に特有の病害や、雪や寒さといった寒冷環境に適応した病害が存在するなど、南方の樹木病害とは異なる様相を持つ。加えて、これらの病害の実態調査や対策研究は広域なアプローチが必要とされるが、地域性を有するが故に、実態を知らぬものにとっては縁遠く思われるかもしれない。今回、北方の樹木病害について、研究経験を持たれる諸兄に各々の分野と観点から研究紹介していただき、樹木病害全般への理解を深める機会としたい。

主な演者と題目(順不同)：

大澤正嗣「カラマツ根株心腐病について」

田端雅進「国産漆の使用 100%化に向けたウルシ林の健全性と病気」

坂上大翼「北海道のトドマツ・エゾマツ類の苗畑に発生する病害

—東京大学演習林における事例—

徳田佐和子「北海道東部で発生しているカラマツの衰退枯死について」

林業経済学会 2021 年春季大会シンポジウム

【日 時】 2021 年 3 月 24 日(水) 10:00~17:30

【テーマ】 近代化と森林管理：知の普及に注目して

【開催方法】 オンライン

(視聴の方法等は、追って学会の HP、メルマガでお知らせします)

【連絡先】 竹本太郎, 〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

東京農工大学大学院農学研究院, E-mail: take<アットマーク>go.tuat.ac.jp

【その他主催者からの情報】

内容：森林管理は、近代化のなかで大きく変化してきた。これまで手薄になっている日本帝国とその植民地における学知や技術の普及とその影響について、開発と保全の関係に焦点を当てた報告と、森林官の思想や行動に注目した報告を行う。「知の普及」をキーワードに、「森林管理と近代化」という大きな課題に、辺境的、個別的、傍流的な視点から、自由な議論を展開したい。

座長：山本伸幸（森林総合研究所）

報告者・報告タイトル：

中島弘二（金沢大学）日本帝国における森林の開発と保全

竹本太郎（東京農工大学）日本帝国における植民地森林官の思想と行動：齋藤音作の前半期の足跡から

コメンテーター：大田真彦（九州工業大学）、関岡東生（東京農業大学）